

地域社会への貢献

新光電気グループは、SHINKO Wayの企業指針として「社会貢献」を掲げており、企業活動を通じて豊かな社会づくりを担ってまいります。

また、地域活動等の社会貢献活動を通じ、地域に根ざした企業として地域社会との共生をはかります。

栗田総合センター

かつての本社工場であった栗田工場は、昭和32年（1957年）の開設以来約半世紀にわたり、主力工場として数々の製品を市場に送り出してきました。工場開設当時は、周囲一面に水田が広がるのどかな環境でしたが、その後急速に開発が進み、住宅等が立ち並ぶ環境へと大きく変貌を遂げたことに伴い、地域社会との共生をはかるため、工場をすべて取り壊し、豊かな緑に包まれた「栗田総合センター」として再整備されました。

栗田総合センターは、春の桜や秋の紅葉等、道行く人々が四季折々の自然の息吹を感じることができる地域における憩いの場となっています。



（栗田総合センター）

地域社会との共生・対話

地域に根ざした社会貢献

新光電気グループは事業活動を通じて地域社会との共生をはかるとともに、創業以来雇用の維持・安定と新たな雇用機会の創出に取り組んでまいりました。

今後も地域の皆様から信頼され、必要とされる企業を目指すとともに、事業活動および地域活動を通じて地域社会へ貢献してまいります。

交通安全の街頭啓発活動

「全国交通安全運動」に合わせて、交通安全の街頭啓発活動を実施しています。特に、地域の小学生が安全に登校できるように、声を掛けながら見守り活動を行い、子供の交通事故防止に取り組んでいます。今後も交通事故ゼロ社会の実現に向け、地域の皆様と一丸となって、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践に取り組んでまいります。



（交通安全街頭啓発活動）

地域環境保全活動

森林(もり)の里親促進事業

長野県が推進する「森林(もり)の里親促進事業」を活用し、飯綱町と協働して、霊仙寺湖周辺の町有林の森林整備を進めています。2014年に飯綱町との間で「森林(もり)の里親契約」を締結し、2019年10月には再締結を行いました。

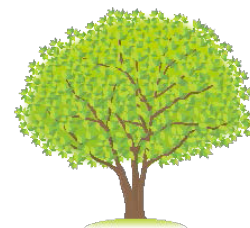
2022年度は、労働組合との共催で5月と11月に苗木の植樹や下草刈り、ウッドチップを散布しての遊歩道整備など、さまざまなかたちでの森林整備を行いました。今後も地域と連携した森林づくり活動を続けてまいります。



(5月の植樹活動)

切手の回収・寄付

当社では切手を回収し、植林活動のための基金に寄付を行っています。2005年7月に回収を始め、2022年度末までに1010本の苗木に相当する分を回収・寄付しました。



工場周辺美化活動

当社は、毎年6月に実施する環境月間を中心に、工場周辺においてゴミ拾い等の美化活動を行っています。今後も工場周辺地域の美しい環境が次世代に引き継がれるよう、地道に活動を行ってまいります。



(工場近隣の清掃活動(高丘工場))

青少年育成支援活動

工場見学、インターンシップの受け入れ

工場見学を通じて、近隣の学校等に学習の場を提供しています。2022年度は、更北工場にて高校生の工場見学を受け入れ、実際の「モノづくり」を目で見て体感してもらいました。

新光電気グループでは次世代を担う学生の「職業観確立・適性発見」の有効な足掛かりになるよう、インターンシップの受け入れも行っています。

教育機関への授業支援

産業界で活躍できる人材育成やキャリア教育を目的とし社員が高校や大学にて講義を行っています。

社員が卒業した母校を訪れて、製造業界の仕事内容や会社概要を説明するとともに、自身の経験を紹介することなどにより、今後の進路選択に役立てていただける機会となっています。



(高校生のキャリア教育支援活動)

公益財団法人北信奨学財団の運営サポート

公益財団法人北信奨学財団は当社の創業者・光延丈喜夫元社長が取締役を退任した際の退職金と保有していた当社の株式を寄付し、これを基金として設立されました。

光延元社長の「ハイテク立県はまず人材育成から」という信念の下、長野県出身または長野県内にある大学の理工系および医薬系の学生を対象（留学生も含む）として、これまで延べ582名に奨学金の支給を行っています。

当社は北信奨学財団の事務局として、運営に協力しています。



トピックス

信州大学工学部「工学教育寄附講座」への寄附・連携

当社は、データサイエンスを活用できる人材育成を目指す信州大学工学部「工学教育寄附講座」の開設にあたり、その趣旨に賛同し寄附を行うとともに、講座において使用する教材の評価や教育ニーズの分析において連携することとなりました。

この寄附講座では、デジタル人材育成の基礎となるデータサイエンスに関し、在学学生の教育の充実をはかるとともに、社会人を対象としたリカレント教育・リスキング教育も計画されており、地域で活躍できる人材育成が期待されます。

今後、労働人口の減少が見込まれている中、デジタル技術の活用による業務の効率化や生産性の向上は、労働人口減少の影響を解消する重要な取り組みの一つです。今回の産学連携の取り組みが産業界の課題解決のみならず、活力ある地方社会の実現につながるよう、当社も協力してまいります。



2023年7月20日 信州大学における記者会見（信州大学と寄附企業の会見参加者）

海外拠点における活動

● KOREA SHINKO MICROELECTRONICS CO., LTD. (KSM)

KSM（韓国）では、工場が所在する工業団地周辺道路の清掃活動を毎年実施しています。2022年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、活動範囲を縮小したうえで実施しました。



（工場周辺の清掃活動）

● SHINKO ELECTRONICS (MALAYSIA) SDN. BHD. (SEM)

SEM（マレーシア）では、業界に関する理解促進や就職支援等を目的として、地域の大学からインターンシップや工場見学の受け入れを行っています。

また、SEM周辺の工業地区における安全維持・向上を目的とした、近隣企業による見守りプログラムへの参加など、地域社会に根ざした活動を推進しています。



（学生へのオリエンテーション）